

都立明治公園の整備計画 答申(案)説明資料

- 資料1-1 都立明治公園の整備計画 答申(案)
- 資料1-2 都立明治公園の整備計画 答申(案)新旧対照
- 資料1-3 「都立明治公園の整備計画(中間のまとめ)」に対する都民意見および対応方針(案)
- 資料1-4 「都立明治公園の整備計画(中間のまとめ)」に対する地元自治体の要望対応方針(案)
- 参考資料1-1 都立明治公園 位置図
- 参考資料1-2 都立明治公園 空中写真

都立明治公園の整備計画 答申(案)

- ・都立明治公園 整備計画 (案)
- ・都立明治公園 ゾーニング図(案)
- ・都立明治公園 イメージスケッチ(参考)

都立明治公園の整備計画（案）

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 所在地 | 東京都新宿区霞ヶ丘町 |
| 2 | 計画対象面積 | 約1.6ha |
| 3 | 都市計画 | 東京都市計画公園第5・7・18号 明治公園
当初告示 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号 約67.80ha
最終告示 平成29年11月30日 東京都告示第1747号 約58.5ha |
| 4 | 開園 | 開園年月日 昭和39年10月 1日
開園面積 2.84ha（平成30年4月現在） |

5 整備計画

(1) 計画地の概要

計画地は都市計画明治公園の西端にあり、新国立競技場の南に位置する。周辺には北に新宿御苑、東の赤坂御用地、また、西に明治神宮内苑・都立代々木公園等の大規模緑地がある。

都立明治公園は昭和39年に開園したが、新宿区霞ヶ丘町地区は新国立競技場の建設及び区画整理事業等により、再編されることとなった。本計画は、そのうちの都営住宅跡地を中心とした約1.6haを対象とする。

(2) 計画テーマの設定

人々と深いいかわりを持ち、明媚な自然を呈する渋谷川が流れていた土地の歴史をふまえつつ、皇居から神宮内苑、代々木公園に至る緑地帯を形成し、時代を超えて継承される杜の中で、まちに暮らす人や働く人、訪れる人等の交流を促進し、新たな価値を生み出す場を目指し、計画テーマを「100年後も続く 未来を創造する緑にふれあえる公園」とする。

(3) 計画コンセプトの設定

計画テーマを具現化するための計画コンセプトを以下の2つとする。

① みどりと水景観の創出

新国立競技場、周辺緑地と繋がる多様性に富んだ緑の拠点として持続的成長が可能な100年の杜と、かつての渋谷川の流れを意識した水景観を形成する。

② 地域のにぎわい創出

交通利便性や周辺の多様な施設を活かした都市の中の魅力的な公園を形成し、多世代交流の場やコミュニティ活動の中心となるような広場空間を創出する。

(4) ゾーニング

整備計画のコンセプト及び計画地の立地特性等を踏まえ、「豊かなみどりのゾーン」と「にぎわいと交流のゾーン」を配置する。

自然に親しみ、憩い、集える多様な交流空間として、明治神宮外苑及び周辺のまちづくりと整合を図りつつ、2つのゾーンが相乗的に賑わいを生み出すとともに地域の回遊性を高めるよう整備する。また、訓練活動や来園者の防災意識の向上の場としても活用できる、広場等の施設整備を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る。

① 豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするとともに、神宮外苑から新宿御苑の一角の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン。

-1 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する。

-2 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑のまとまった周辺施設の緑と連続した景観を形成していく。

-3 公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく。

② にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン。

-1 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる。

-2 かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する。

-3 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する。

都立明治公園 ゾーニング図（案）

にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン

- 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる
- かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する
- 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する

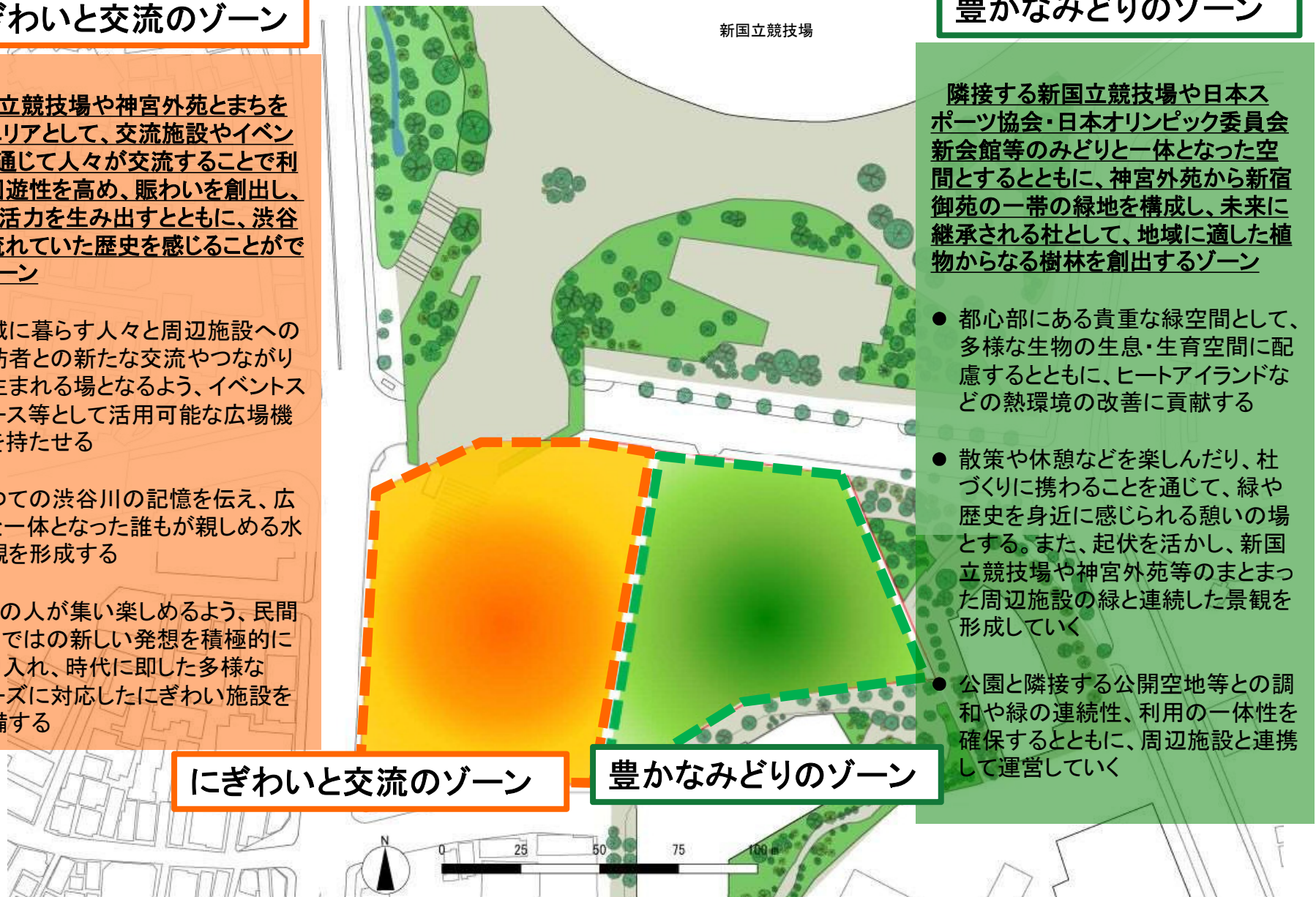
にぎわいと交流のゾーン

豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするとともに、神宮外苑から新宿御苑の一带の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン

- 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する
- 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑等のまとまった周辺施設の緑と連続した景観を形成していく
- 公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく

豊かなみどりのゾーン



都立明治公園 イメージスケッチ（参考）～豊かなみどりのゾーン～



都立明治公園 イメージスケッチ（参考）～にぎわいと交流のゾーン～



※新国立競技場については完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。
新国立競技場に係る部分については、大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体が作成した完成予想イメージパースについて、独立行政法人日本スポーツ振興センターから提供を受け、それを元に東京都建設局が作成したものです。

都立明治公園の整備計画 答申(案)新旧対照

- ・都立明治公園 整備計画 (案) 新旧対照
- ・都立明治公園 ゾーニング図(案)新旧対照

都立明治公園の整備計画（案）新旧対照

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 所在地 | 東京都新宿区霞ヶ丘町 |
| 2 | 計画対象面積 | 約1.6ha |
| 3 | 都市計画 | 東京都市計画公園第5・7・18号 明治公園
当初告示 昭和32年12月21日 建設省告示第1689号 約67.80ha
最終告示 平成29年11月30日 東京都告示第1747号 約58.5ha |
| 4 | 開園 | 開園年月日 昭和39年10月 1日
開園面積 2.84ha（平成30年4月現在） |

5 整備計画

(1) 計画地の概要

計画地は都市計画明治公園の西端にあり、新国立競技場の南に位置する。周辺には北に新宿御苑、東の赤坂御用地、また、西に明治神宮内苑・都立代々木公園等の大規模緑地がある。

都立明治公園は昭和39年に開園したが、新宿区霞ヶ丘町地区は新国立競技場の建設及び区画整理事業等により、再編されることとなった。本計画は、そのうちの都営住宅跡地を中心とした 約1.6haを対象とする。

(2) 計画テーマの設定

人々と深いいかわりを持ち、明媚な自然を呈する渋谷川が流れていた土地の歴史をふまえつつ、皇居から神宮内苑、代々木公園に至る緑地帯を形成し、時代を超えて継承される杜の中で、まちに暮らす人や働く人、訪れる人等の交流を促進し、新たな価値を生み出す場を目指し、計画テーマを「100年後も続く 未来を創造する 緑にふれあえる公園」とする。

(3) 計画コンセプトの設定

計画テーマを具現化するための計画コンセプトを以下の2つとする。

① みどりと水景観の創出

新国立競技場、周辺緑地と繋がる多様性に富んだ緑の拠点として持続的成長が可能な100年の杜と、かつての渋谷川の流れを意識した水景観を形成する。

② 地域のにぎわい創出

交通利便性や周辺の多様な施設を活かした都市の中の魅力的な公園を形成し、多世代交流の場やコミュニティ活動の中心となるような広場空間を創出する。

(4) ゾーニング

整備計画のコンセプト及び計画地の立地特性等を踏まえ、「豊かなみどりのゾーン」と「にぎわいと交流のゾーン」を配置する。

自然に親しみ、憩い、集える多様な交流空間として、明治神宮外苑及び周辺のまちづくりと整合を図りつつ、2つのゾーンが相乗的に賑わいを生み出すとともに地域の回遊性を高めるよう整備する。また、**訓練活動**や来園者の防災意識の向上、**平常時の訓練活動等を想定したの場としても活用できる、広場等の施設整備**を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る。

① 豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするとともに、神宮外苑から新宿御苑の一带の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン。

-1 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する。

-2 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑の**まとまった**周辺施設の緑と連続した景観を形成していく。

-3 **公園**と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、**利用者**の**回遊性**の**一体性**を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく。

② にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで**利用**の**回遊性**を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン。

-1 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる。

-2 かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する。

-3 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する。

都立明治公園 ゾーニング図（案）新旧対照

にぎわいと交流のゾーン

新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリアとして、交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、賑わいを創出し、まちに活力を生み出すとともに、渋谷川が流れていた歴史を感じることができるゾーン

- 地域に暮らす人々と周辺施設への来訪者との新たな交流やつながりが生まれる場となるよう、イベントスペース等として活用可能な広場機能を持たせる
- かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する
- 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備する

にぎわいと交流のゾーン

豊かなみどりのゾーン

隣接する新国立競技場や日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会新会館等のみどりと一体となった空間とするとともに、神宮外苑から新宿御苑の一带の緑地を構成し、未来に継承される杜として、地域に適した植物からなる樹林を創出するゾーン

- 都心部にある貴重な緑空間として、多様な生物の生息・生育空間に配慮するとともに、ヒートアイランドなどの熱環境の改善に貢献する
- 散策や休憩などを楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とする。また、起伏を活かし、新国立競技場や神宮外苑等のまとまった周辺施設の緑と連続した景観を形成していく
- 公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに、周辺施設と連携して運営していく

豊かなみどりのゾーン



「都立明治公園の整備計画（中間のまとめ）」に対する都民意見および対応方針(案)

募集期間 平成31年2月5日～平成31年3月6日

応募総数 12通、29件（地元意見4通、その他8通）
（FAX：1通、メール：11通、手紙：0通）

No	ご意見	対応方針
1	<p>【整備計画全体に関する意見】8件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷川の復元など地域の歴史・文化を視野に入れた整備であり、素晴らしい。 ・歴史的経緯を踏まえ、渋谷川との関連性や周囲の環境との連続性を意図されたことは高く評価したい。 ・広大な都心一等地に大切な‘緑’を残す～創る良い方針と感心した。 ・人々が集え、交流できるエリアの設置は、とても期待できる。多様な人々が集う東京の新しい情報発信拠点となることを願う。民間との共同で、人々のニーズに沿った施設を整備してほしい。 ・コンセプトが二つというのは違和感がある。ひとつに絞り込み、ブレない整備を期待する。 ・「にぎわい」と「豊かなみどり」と2ゾーンに2分されているが、にぎわいの創出を目的としたしつらえであっても、（例えば多様な草花を植えて多様な虫を呼ぶような）生物多様性に貢献することは可能と考える。クリアカットに2ゾーンを分けることに満足せず、ぜひ二兎を追っていただきたい。 ・豊かなみどりのゾーンについて、-2と-3にいずれも周辺施設の緑との連続性を確保する内容が記載しており、違いが分かりづらい。「国立競技場等の周辺施設の緑」と「隣接する公開空地等の緑」との違いをかき分けてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を伝える工夫を行いつつ、整備計画に基づき、公園の整備や管理を進めてまいります。 ・整備計画に基づき、公園の整備や管理を進めてまいります。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・渋谷川が流れていた土地の歴史を踏まえ、緑地帯を形成し、時代を超えて継承される杜の中で、人々の交流を促進し、新たな価値を生み出す場を目指し、みどりと水景観の創出、地域のにぎわい創出の2つを計画コンセプトとして定めています。整備計画に基づき、公園の整備や管理を進めてまいります。 ・(4) ゾーニングにあるとおり、両ゾーンとも、自然に親しみ、憩い、集える多様な交流空間として整備してまいります。にぎわいと交流のゾーンについても、植栽を行い、季節や生き物を感じられるような空間になるよう計画しております。 ・(4) ゾーニング①-2は景観形成について、(4) ゾーニング①-3は空間利用について整備の考え方を示しています。また「国立競技場等の周辺施設の緑」と「隣接する公開空地の緑」は同じ緑を指します。こうした趣旨を明確にするため、下記のとおりアンダーラインの表現を追加・修正しました。(4) ゾーニング①-2「<u>新国立競技場や神宮外苑等のまとまった周辺施設の・・・</u>」 (4) ゾーニング①-3「<u>公園と隣接する公開空地等との調和や緑の連続性、利用の一体性を確保するとともに・・・</u>」

No	ご 意 見	対 応 方 針
1	<ul style="list-style-type: none"> にぎわいと交流のゾーンについて、なぜ、このエリアが民間ならではのアイデアを取り入れる場所として相応しいと考えるのかわかりづらい。計画地は、新国立競技場と一体となって使われることが想定できる、その利活用が競技場にも公園にも街にもプラスとなるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画地は商業や住宅の混在した地域に接するとともに、新国立競技場や神宮外苑とつながる区域であり、人々の交流を促進し、賑わいを創出していく上で、民間ならではのアイデアを取り入れる場所として相応しいことを明確にするため、(4)ゾーニング②にアンダーラインの表現を追加しました。「<u>新国立競技場や神宮外苑とまちを結ぶエリア</u>として、<u>交流施設やイベント等を通じて人々が交流することで利用の回遊性を高め、</u>・・・」。
2	<p>【自然環境や植栽に関する意見】 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治公園は、もとはといえば渋谷川の跡にできた公園だった。整備に当たってはかつて流れていた渋谷川の流れをイメージできる公園を作してほしい。 豊かなみどりのゾーンは、大きい樹木や株立ちのものをメインにして、芝生の広場でピクニック出来るような場所がいい。たまに素敵なアウトドアイベントがあり、お洒落に都会でキャンプをしたり、ハンモックで寝たり、自然な遊びなどができると嬉しい。 安易に潜在自然植生のみをフォーカスするのではなく多様な遷移段階の植生・生態系を意識してほしい。周辺には在来種がまだまだ自生している。法的に可能な範囲で種を集めるなどして、固有の自然を継承した植栽を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 渋谷川が流れていた土地の歴史をふまえ、新たな価値を生み出す場を目指し、公園の整備や管理を進めてまいります。 (4)ゾーニング①-2にあるとおり、散策や休憩を楽しんだり、杜づくりに携わることを通じて、緑や歴史を身近に感じられる憩いの場とすることとしています。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 (3)計画コンセプトの設定①にあるとおり、多様性に富んだ緑の拠点となるよう、地域に適した植物の植栽計画を進めてまいります。
3	<p>【施設整備に関する意見】 11件</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が自由に遊べる場所があると良い。 雨の日でも遊べる施設や夏は水で遊べるようなところがほしい。 親子で楽しめ、子どもも一緒でもゆっくりできるお洒落な飲食店が欲しい。 子どもたちが遊ぶ姿を眺めながらゆっくりランチをしたい。施設もレストランも、値段は庶民的な設定としてほしい。 公園なので木陰で休める場所も作ってほしい。 提案として、「夜の公園」の活用をして頂けないか。高層・超高層ビル群に囲まれている地形を逆に資源と考え、「夜の公園キャンプ」や「テント生活体験」など夜営の出来る広場を計画に加えて頂きたい。「防災体験」としてもいかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が集い楽しめるよう、民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れていくこととしています。今後、計画の具体化に当たり、参考にさせていただきます。

No	ご 意 見	対 応 方 針
3	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい施設を整備するにあたっては、Park-PFI等の制度を活用して、より積極的に民間活力を導入してほしい。 ・公園利用者の利便性と、環境に優しく健康増進につながる自転車交通の役割として、シェアサイクルのサイクルポートの位置づけと設置を計画に盛り込んでほしい。 ・少数の喫煙所を定め、それ以外は電子タバコ類も含め禁煙にしてほしい。喫煙所をトイレとセットで設置している施設があるが、トイレ利用者や掃除の方が必ず受動喫煙することになるので、全く違う人の通らない場所に設置してほしい。 ・毎週のように集会やイベントが誘致されると、混雑して騒々しくなり、気軽に子どもを連れて遊びに行くことが難しくなる。デモ行進で平穏な生活が脅かされる。広場機能はなくして、公園全体を明るい疎林にしてみたい。 ・公共の場所をホームレスに占拠されないようにすることが肝心。屋根のある施設は必要最小限にし、木を密集させず、地面も凹凸を残す形で整備し、物理的にテントや小屋を建てられないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間ならではの新しい発想を積極的に取り入れ、時代に即した多様なニーズに対応したにぎわい施設を整備することとしています。今後、計画の具体化に当たり、参考にさせていただきます。 ・ご意見は、地元区と共有し、公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・都立公園では主要な園路や子どもが使用する遊具の周辺にある吸殻入れを撤去するとともに、喫煙マナーの向上に努めています。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・人々の交流を促進し、新たな価値を生み出す上で、イベントスペース等として活用可能な広場は必要だと考えています。来園者の方が安全に安心して快適に利用できるよう、公園の整備や管理を進めてまいります。
4	<p>【防災に関する意見】 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団の操法訓練で敷地を使用できるよう、直線で50m、幅10mのスペースの確保を望む。 ・公園内の地面を段差のない舗装にしてほしい。 ・夜間訓練が実施できるような街路灯の配置を望む。 ・「防災公園としての機能の充実」とは、どのように図られるべきか、いずれかのゾーンまたはいずれにも記載してはどうか。例えば、「にぎわいと交流ゾーン」に、『イベントスペースとして活用されるほか、平常時の防災訓練活動の場や発災時の避難場所として活用可能な広場空間を確保する』等が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練活動の場としても活用できる広場等の施設整備を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図ることとしています。公園の整備や管理の参考にさせていただきます。 ・2つのゾーンについて防災機能の充実を図ることとしていることから、(4)ゾーニングの防災に関する一文を下記のとおり修正しました。「また、訓練活動や来園者の防災意識向上の場としても活用できる、広場等の施設整備を行うなど、避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る。」
5	<p>【管理・運営に関する意見】 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつての明治公園には管理事務所がなく、木や植え込み、路面も荒れ気味だったので、管理事務所を配置し、責任ある管理ができる職員を常駐させてほしい。 ・決してホームレスが居座ることがないよう、人の目が届く公園にしてほしい。 ・しっかり管理されたきれいな公園を維持してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所の設置は予定しておりませんが、来園者の方が安全に安心して快適に公園利用ができるよう適正な維持管理を行なってまいります。

「都立明治公園の整備計画（中間のまとめ）」に対する地元自治体の要望対応方針(案)

No	ご 意 見	対 応 方 針
1	<p>【留意事項について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境や地域特性を踏まえ、必要な公園機能を盛り込むこと。 ・従来から行われている防災訓練の実施等に配慮した計画にすること。 ・渋谷川の流れを継承するような計画にすること。 ・この区域に従来「区立かすみ児童遊園」があったことを鑑み、地域の方たちの利用に配慮した公園機能を確保すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然に親しみ、憩い、集える多様な交流空間として、明治神宮外苑及び周辺のまちづくりと整合を図りつつ、2つのゾーンが相乗的に賑わいを生み出すとともに地域の回遊性を高めるよう整備する」こととしています。 ・「訓練活動や来園者の防災意識の向上の場としても活用できる、広場等の施設整備を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る」こととしています。 ・「かつての渋谷川の記憶を伝え、広場と一体となった誰もが親しめる水景観を形成する」こととしております。 ・今後計画の具体化にあたり、参考にさせていただきます。
2	<p>【消防団活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の大小にかかわらず、消防団の活動が可能な空間の確保について、配慮願います。 ・訓練には消防水利が必要となるので、消防水栓・防火水槽等が設置できるよう配慮願います。（消防水利の設置は消防側で行います。） ・公園施設の整備にあたっては、舗装はアスファルトコンクリートなど平坦なもの、入り口は消防指揮車（幅2.3m程度）が乗り入れできる形状が望ましい。 ・訓練場所の広さは理想では100m×10mだが、直線100mが難しい場合は20m、30m、50mでも良い。 ・今回の検討箇所以外においても、公園整備を図っていく際には、可能などころでは、できるだけ大きな消防団の訓練可能空間が確保できるよう、配慮願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「訓練活動や来園者の防災意識の向上の場としても活用できる、広場等の施設整備を行うなど避難場所に指定された防災公園としての機能の充実を図る」こととしています。公園の整備や管理の参考とさせていただきます。

都立明治公園 位置図

参考資料 1-1



都立明治公園 空中写真

参考資料 1-2

